

# ☆安保法案 国民の79%が審議不十分

—— 戦争する国への道を歩まないために ——

## 納得できない強行採決

◇共同通信社が実施した調査によると、安保法案について「国会での審議が尽くされたとは思わない」との回答は79%、「尽くされたと思う」は、僅か14.1%だった。また安保法に対する安倍政権の姿勢に関し「十分に説明しているとは思わない」は81.6%にのぼり、強行採決への不満が浮き彫りになった。

## 駆けつけ警護が戦争の入り口に？

◇安倍総理は、この法案には多くの歯止めをかけているので、戦争には巻き込まれないと強調していた。しかし、舌の根が乾かないうちに、アフリカ・南スーダンPKOでは駆けつけ警護を想定していることが明らかになった。

## 安保法は防衛費が膨らみ暮らしが細る

◇安倍政権発足によって防衛予算は年々増加し続けている一方、私たちの暮らしは、年金支給額は下がり、医療費の自己負担や介護保険料はあがり、貯金ゼロ世帯は3割を超えた。消費税率のアップにより国民の負担は重くなり、生活保護世帯数が過去最多を更新し続けている。

## 全国で訴訟の動きが

◇小林節・慶応大名誉教授らが、東京地裁に提訴する準備を進め、千人規模の弁護団を目指している。また三重県松坂市の山中市長が結成した、市民団体「ピースウイング」が年内にも起こす方針で、すでに全国500人が原告となる意向という。このほかにも多くの訴訟を求める動きがある。

## 戦争する国への道を歩まないためにみんなで行動を続けよう

◇「法案が成立したからと言って終わりじゃない」「子どもや孫の未来のことを考えて」「法律の執行を止めたい」こうした想いで、浜松市憲法を守る会は平和行進を続けます。みなさんも是非「声」をあげ続けてください。

二〇一五年十月十一日(日) 護憲平和行進(通算584回目)

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

【日本国憲法 第九条】

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、久にこれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。